

京都大学グローバル COE「心が活きる教育のための国際的拠点」主催 講演会
「読むこと・書くこと・語ること」
Reading, Writing and Narrative

ポール・スタンディッシュ教授(ロンドン大学教育研究所)
アマンダ・フルフォード準教授(ハダスフィールド大学)

日時:2008年2月13日(水)14:00~17:00(*途中休憩有り)

場所:京都大学大学院教育学研究科会議室(1階)

(*入場料無料、申し込み不要、通訳つき)

京都大学大学院教育学研究科グローバル COE の国際交流企画のひとつとして、ロンドン大学教育研究所のポール・スタンディッシュ教授と、ハダスフィールド大学のアマンダ・フルフォード準教授による講演会を開催いたします。当グローバル COE の課題の一つである「幸福と教育」の問題を考え討議する場として、「読むこと・書くこと・語ること」という主題でご講演をいただきます。まずスタンディッシュ教授に、最新著 *The Therapy of Education: Philosophy, Happiness and Personal Growth* (2007)をもとに、ナラティブと自伝的に書くことに関わりを中心として、幸福と個の成長につながる教育のあり方を哲学的に論じていただきます。続いて、フルフォード準教授に、ご専門の観点からイギリスにおけるリテラシー教育の問題を含め、「リテラシーをもつ人間であること」の哲学的考察を行なっていただきます。多領域からの皆様のご参加をお待ち申し上げます。

スタンディッシュ教授のご専門は教育哲学で、デリダ、リオタール、レヴィナスなどポスト構造主義の言語哲学およびエマソンやカベルのアメリカ哲学と教育との関わりを中心とした研究が中心です。著書は、*Beyond the Self: Wittgenstein, Heidegger and the limits of language* (1992)(単著)、*Education in an age of nihilism* (2000)(共著)、*The Blackwell Guide to the Philosophy of Education* (2003)(編著)など多数あります。フルフォード準教授のご専門は、教育哲学で、成人教育や教養教育におけるリテラシーについてのご研究が中心です。

問い合わせ: 京都大学大学院教育学研究科

斉藤直子 (tel/fax: 075-753-3036)